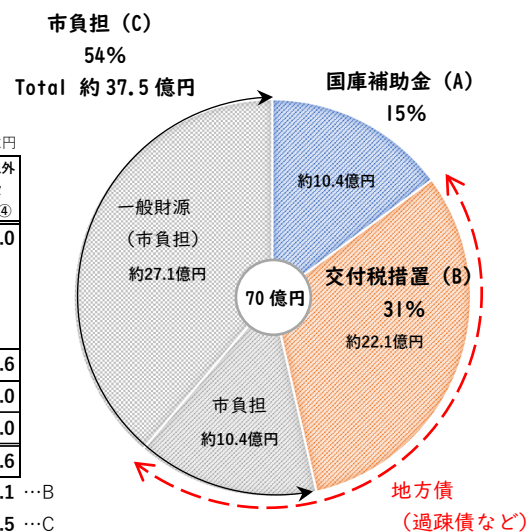


統合中学校の整備について

Ⅰ. 概算事業費について

北統合中学校を新築した場合の財源内訳イメージ

工事内容	実工事費①	補助金 対象額②	補助率③	国庫補助金 (交付金) ④=②×③	補助対象外 工事費 ⑤=①-④
1.建築費用	52.0	20.1	1/2	10.0	42.0
①設計業務	2.0				
②校舎	50.0				
③屋内運動場（武道場）					
④外構（グラウンド・駐車場など）	5.0	1.2	1/3	0.4	4.6
2.土地購入	3.0	0.0		0.0	3.0
3.造成費用	10.0	0.0		0.0	10.0
TOTAL	70.0	21.3		10.4 …A	59.6
交付税措置					22.1 …B
市負担					37.5 …C



※1 スクールバスの運営費：1台あたり年間約1,000万円

※2 通学路の道路整備は含まない

(参考) 干潟中学校を活用する場合（敷地面積：24,302 m²）

概算費用：約40億円

- ・管理教室棟改築：20億円
- ・既存校舎改修：15億円
- ・グラウンドなどの外構整備：5億円



2. 市内中学校 生徒数の推計について

第一中	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19
1年生	51	48	61	55	52	51	38	27	28	31	32	26	25
2年生	55	51	48	61	55	52	51	38	27	28	31	32	26
3年生	48	55	51	48	61	55	52	51	38	27	28	31	32
合計	154	154	160	164	168	158	141	116	93	86	91	89	83
学級数	6	6	6	6	6	6	6	5	4	3	3	3	3

第二中	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19
1年生	248	238	228	216	227	235	196	227	213	220	180	200	171
2年生	216	248	238	228	216	227	235	196	227	213	220	180	200
3年生	258	216	248	238	228	216	227	235	196	227	213	220	180
合計	722	702	714	682	671	678	658	658	636	660	613	600	551
学級数	20	22	22	21	21	21	20	20	20	21	20	19	17

干潟中	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19
1年生	49	35	44	42	40	32	31	26	20	29	20	15	18
2年生	50	49	35	44	42	40	32	31	26	20	29	20	15
3年生	43	50	49	35	44	42	40	32	31	26	20	29	20
合計	142	134	128	121	126	114	103	89	77	75	69	64	53
学級数	6	5	5	5	6	5	4	3	3	3	3	3	3

海上中	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19
1年生	86	85	110	86	96	78	78	71	70	61	63	64	65
2年生	85	86	85	110	86	96	78	78	71	70	61	63	64
3年生	86	85	86	85	110	86	96	78	78	71	70	61	63
合計	257	256	281	281	292	260	252	227	219	202	194	188	192
学級数	9	9	10	10	10	9	9	9	8	7	6	6	6

飯岡中	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19
1年生	59	49	54	47	44	38	41	40	34	44	26	27	26
2年生	53	59	49	54	47	44	38	41	40	34	44	26	27
3年生	69	53	59	49	54	47	44	38	41	40	34	44	26
合計	181	161	162	150	145	129	123	119	115	118	104	97	79
学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4	3

※R7.5 月時点の小学校 1 年～6 年の児童数及び住民基本台帳の 6 歳～1 歳の人数を基に異動がないと仮定して推計

※R8 以降の学級数は一学級 35 人として計算（普通学級のみ）

(案)

(仮称) 北統合中学校 (中和小・萬歳小・古城小) 学校再編地域検討会議**検討結果**

旭市学校再編基本方針の(仮称)北統合中学校について、干潟中学校 学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

第二中学校(琴田小・共和小)と干潟中学校を旭市学校再編基本方針のとおり統合することに「おおむね賛成」とする。

【検討の経緯と理由】

干潟中学校は、昭和22年の創立以来、2回の統合といった変遷をたどりながら、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、地域に根付き親しまれてきた。

少子化の影響により、令和7年度の生徒数は142名となり、一学年単学級になることが現実的となっている。

会議の中では、魅力的な新しい学校づくりを望む意見や、今後の生徒数減少を考えると統合はやむを得ないという意見があった一方で、統合後の生徒数のバランスや中学校の新築費用を懸念する意見もあった。

以上の結果、第二中学校(琴田小・共和小)と干潟中学校を統合することに「おおむね賛成」となった。

【各候補地に対しての意見】**候補地 A**

- ・統合中学校の学区のほぼ中心であり、どの学区からも自転車で通学しやすい。
- ・住宅密集地から離れているため、保護者の送迎時の渋滞緩和や周辺住民の苦情が避けられる。また、周辺道路の拡張もしやすい。
- ・河川や交通量の多い幹線道路から距離があるため、通学の安全性が確保しやすい。
- ・過疎債が活用できるため経済的に有利。

候補地 B

- ・統合中学校の学区の西側となるが、住宅密集地から離れているため、保護者の送迎時の渋滞緩和や周辺住民の苦情が避けられる。
- ・干潟地域に建設した場合、過疎債が活用できるため経済的に有利。

候補地 C

- ・統合中学校の学区の人口重心に近い。

候補地 D

- ・統合中学校の学区のやや東側であり、琴田小・共和小寄りになっている。

委員提案

干潟小を学区に編入

5 学区だけでは生徒数が少なく、南統合中との格差もあるため、干潟小も学区に編入することを検討してほしい。

既存の学校を活用

将来的な生徒数の推計を踏まえると、再編後の中学校の配置数は 2 校が適切だと考えるので、新設はせずに、既存の学校を活用した再編を検討してほしい。

【会議の概要】

第 1 回 (R7.7.7)	(1) 旭市学校再編基本方針の概要について (2) 北統合中学校の現状と保護者アンケート結果について (3) 意見交換
第 2 回 (R7.8.8)	(1) 統合校の位置について
第 3 回 (R7.9.22)	(1) 再編の可否について
第 4 回 (R7.10.27)	(1) 検討結果の報告書 (案) について

令和 7 年●月●日
旭市教育委員会